

報告日 令和7年2月10日
報告回次 3日目

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	飯塚市			代表者名	武井 政一
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	業務改善・DX推進課	連絡先電話番号	0948-22-5500
担当者役職	主任	担当者氏名	林 聰子	連絡先E-mail	
住所	820-8501 福岡県飯塚市5番5号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	業務改善やDX推進のための機運醸成
概要	複雑化する住民ニーズに対応するために提供する行政サービスも複雑化している。その一方で、従来の手法を変えたくない現状維持バイアスが組織内に蔓延しており、住民サービスの向上にはつながっていないことから、その払拭と職員の意識改革や、府内DXの更なる推進のための機運醸成を目的とした職員向け研修の実施		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成）		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	156	令和7年2月7日	講演	実地
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年1月31日	講演（実地）	15時00分	17時00分	活動時間（分）
					120
2-2.	会場名	飯塚市役所		最寄駅	新飯塚駅
派遣場所	所在地	福岡県飯塚市新立岩5番5号		最寄駅からの交通手段	徒歩

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	円城寺 雄介
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかつたか等詳細に）	業務改善及びDX推進に対する機運醸成のため、中堅職員（採用10～11年目）を対象に昨年度に引き続き研修を行ったが、研修を受けての気づきや自分の業務に落とし込むためのワークを行ったことで、業務改善やDX推進をより自分事として捉えるきっかけとなった。 第2回の研修においては、実際にデジタルを活用した業務改善に取り組む受講生とまだ取り組めていない受講生と一緒にしたグループ構成にし、より自分事として業務改善に取り組む意識の醸成に繋がるグループワークを行うとともに、再度受講生に対し、アドバイザー自身の体験事例を交えながらアドバイスをいただいた。
アドバイザーへの要望事項	特になし

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	37人
	属性	自治体職員	住民	企業・団体
	人数	37		その他(学生など)

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	業務の多様化、複雑化に伴い、職員に対する業務負荷も増加する中で、組織として生き残るために、デジタル技術を活用しながら、職員が環境の変化を捉え、柔軟かつ俊敏に変化に対応する必要がある。 しかしながら、日々の業務量の多さから、目の業務に追われ、将来を見据えた改善や改革しようとする意識が低く、何が課題かなど問題意識を持つことなく前例踏襲的に業務を行う職員が多いことが課題点としてあげられる。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	①何が課題かを把握する意識の醸成 ②課題へ果敢にチャレンジし続ける意識の醸成 ③デジタルを利活用した課題解決

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	府内でDX推進を実行するキーパーソンとなる階層の職員に向けて、「他人事から自分事へ！～未来を担う職員の自治体DXへの挑戦～」と題したマインドセット研修（1回目）を9/6に実施したが、より研修の成果をあげるため、グループワーク重視の研修を2回目の研修として実施した。
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	・「日々の業務に追われ、業務改善などを実行する暇がない」や、「DX推進は誰かがすればいい」といった他人事感、「今まで通りでいい」といった課題意識を持つことなく前例踏襲で考えがちな職員に対し、研修内で、自分の業務に落とし込み、問題・課題やその原因を見つめ直すきっかけとなった。 ・研修内の講師からのレクチャーやグループワークを通して、複数の目線から様々なデジタル技術を活用した改善案が提案され、業務改善に向けた第一歩を踏み出すことができた。
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑦その他 第1回目の研修後に、所属長を交えた受講生間での意見交換を定期的に実施する部署も現れ、その中から、実際にデジタル技術を活用した改善案の次年度予算要求まで繋がる事例があった。それ以外にも改善案に対する先進視察や情報収集を積極的に行うなど、受講生のDX推進に対する意識醸成に繋がった。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートについては、第1回の研修終了から3カ月後にフォローアップアンケート、第2回の研修終了後に最終アンケートを実施するため、後日共有予定。
4-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい ②次年度に予算化を図り推進する 次年度実施に向けた予算要求を行っており、今年度実施した研修内容をさらにブラッシュアップし、全庁的に主体的にDXに取り組む職員の育成を引き続行っていく。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	前例にとらわれず、自ら課題を発見し、主体的にDXに取り組むことで、将来を見据えた改善提案に繋がる職員を育成することで、デジタル技術を積極的に活用しながら、地域住民の満足度の高い行政サービスの提供に繋げる。

5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

なお「その他」を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

